

ねりま区報

1/1

平成22年(2010年) 第1526号
毎月1日・11日・21日発行

今号の主な記事



特集
区内で音楽活動をしている団体などを紹介……2・3面
区立施設にある飲食店を紹介……4面

うるおい・にぎわい・支えあい ともに築く わがまち練馬 ～豊かさゆとりあるまちへ～

発行/練馬区 編集/広聴広報課広報係 〒176-8501豊玉北6-12-1 ☎3993-1111(代表) Fax3993-1194 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/>



開進第四小学校サッカークラブの子どもたちによる今年の干支(えと)「トラ」の人文字



成人の日のつどい

新成人の皆さまの門出を祝うため、「成人の日のつどい」を開催します。※当日は、案内状をお持ちください。
▽対象 平成元年(1989年)4月2日～2年(1990年)4月1日に生まれた区内在住の方 ※区内在住の外国籍の方や、以前区内にお住まいだった

1月11日(祝)午後1時から としまえん

方も参加できます。
▽とき 1月11日(祝)午後1時～2時30分 ※受け付けは、午前11時30分からとしまえん正門前で行います。 ※雪などで中止になる場合は、区ホームページ(<http://www.city.nerima.tokyo.jp/seishonen/>)でお知らせします。
▽ところ としまえん ※来場の際は、電車・バスをご利用ください。
▽内容 式典、アトラクション ※呼気一酸化炭素濃度測定コーナーやアルコールパッチテストコーナーもあります。
▽問合せ 育成活動係 ☎5984・4692



練馬区議会議長 本橋正寿

区議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年が皆さまにとって、幸多い輝かしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

一昨年から始まった世界的な不況は、国はもとより地方にも大きな影響を与え、練馬区の財政状況は大変厳しい状況に置かれています。区議会といたしましては、真剣な論議を通して区民の皆さまの生活を守ることに、より一層の福祉の向上に全力を注いでいく決意です。区民の皆さまの区議会への変わらぬご支援をお願いいたします。



練馬区長 志村豊志郎

区民の皆さまには、すがすがしい新春を健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。希望に満ちた一年となりますよう、心から祈念いたします。

このたび策定いたしました、練馬区基本構想では、「ともに築き 未来へつなぐ 人とみどりが輝く わがまち練馬」を10年後の練馬区のあるべき姿としております。私は、この基本構想の実現に向けて、区民の皆さまと手を携え、本年も全力を尽くしてまいります。改めて区民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

あけましておめでとうございます



地域密着で活躍するプラスバンド♪♪ だいこんプラス

地元名産の練馬大根にちなんだ名前を持つバンドです

練馬大根にちなんで名付けられただいこんプラスは、大泉中の吹奏楽部OBが中心になって生まれたバンドです。

「結成から今年で8年目で、現在は中学生から70代まで約30人の団員がいます。中には親子で参加しているメンバーもいます。演奏の技術レベルも経験年数もバラバラですが、一緒に音楽を演奏する楽しさを満喫したいとみんなが思っています。」

プロのホルン奏者でもある団長の澤さんは、団員の指導に当たるほか、一団員として演奏に加わるのが何よりも楽しいと話してくれました。

「コンクールの出場や技術の向上だけを目指すのではなく、地域に密着した音楽活動をしたいという方針で、地域のイベントやデイサービスセンターなどの福祉施設で演奏しています。」



月に2~3回、地元の地区区民館や小学校などで練習に励みます

みなさんが音楽に親しめるような企画を工夫しています

たくさんの方に楽しんでもらえるように、Jポップやジャズ、アニメ・時代劇のテーマソングなど親しみやすい曲をレパートリーにしているほか、さまざまな工夫をしているそうです。

「演奏に寸劇やダンス、歌などを盛り込みエンターテインメント性の高い内容を描けています。映画の寅さんのテーマ曲を演奏したときは、メンバーが寅さんの格好をして、口上を述べる場面を入れたり、テレビドラマ『スパイ大作戦』の設定を取り入れて、スパイが世界各国を巡る演出で、アフリカなどの曲を演奏したりしました。」



演奏する方も聴く方も楽しめる演奏がだいこんプラスの魅力です

だいこんプラスの演奏会では、観客が歌で演奏に参加したり、ボディパーカッションなど体を動かしたりして一体感が味わえるような演出もあります。

「わたしたちが楽しんでいる演奏で、皆さんにも音楽の楽しさを感じて欲しいです。これからも聴く人が元気になるような企画を盛り込むことで、だいこんプラスらしい演奏をしたいですね。今は3月の定期演奏会に向けて、メンバーで企画を出し合い、練り上げているところです。楽しい演奏会にしたいです。」



世界一小さな音楽祭♪♪ 小竹の森音楽祭



小学生と保護者の音楽会がきっかけで始まりました

小竹の森音楽祭は、毎年秋に小竹小体育館で開催する音楽祭です。小学校の校庭にある小竹の森と呼ばれる小さなビオトープ(野生生物の生息空間)にちなんで名付けられました。「開催は今年で17回目になります。平成5年に、小竹小の4年生と保護者が開いた『たけのこ音楽会』に招待された当時の校長先生が、地域に開かれた音楽祭を開催したいと提案して始まりました。PTAや町会、小竹



小竹の森音楽祭実行委員 松本美華子さん

小で実行委員会を結成し、手探りで企画から運営までを担って開催されて以来、恒例行事となりました。音楽祭は、第一部で小竹小の児童の吹奏楽や合唱、PTAのお父さんやお母さんたちのコーラス、武蔵野音楽大生による演奏など、アマチュアによる演奏が行われます。第二部は、この音楽祭のために集まったプロの演奏家によるオーケストラの演奏です。」

地域のボランティアと小学校・町会・PTAによる手作りの音楽祭です

小竹小の周辺は、武蔵野音楽大学や日本大学芸術学部があり、音楽関係者やプロの演奏家が多く住んでいる地域です。多くの方が運営のボランティアとして参加したり、見事な演奏を披露してくれたりすることも、音楽祭を盛り上げる原動力となっていると実行委員の松本さんはいいます。

「音楽祭を作り上げているのは、実行委員会と地域

のボランティアです。総勢約150人でプログラム編成や出演者との交渉、広報、会場設営、照明などをすべてを担います。」

地域に根ざした音楽祭として親しめる工夫をしています

実行委員会では、毎年新たな企画を考えているそうです。昨年は体育館での音楽祭とは別に、小竹小吹奏楽部OBの学生バンド『ウインドオーケストラトミーズ』による野外演奏が行われました。

「30分ほどのこぢんまりしたステージですが、メンバーは放課後などに小竹小の音楽室で練習を重ね、本番を迎えました。地域で生まれたバンドが活躍できるのも手作りの音楽祭の醍醐味(だいごみ)です。これからも親しみやすい、地域に根ざした音楽祭として、いろいろな試みに挑戦しながら続けていきたいです。また、音楽祭に参加する子どもたちに達成する喜び、努力や工夫が実を結ぶ楽しさなどを味わってもらえればいいなと思います。」



小竹小の5年生は合唱とリコーダー演奏を披露しました

音楽で 毎日を楽しみたい!

ねりまに素敵なハーモニーを響かせる人たち♪♪

枝豆を愛するミュージシャン♪♪ “枝豆王子” 児島啓介さん

保育園の園児が枝豆王子の名付け親です

学生時代にはロックバンドを組み、現在もライブハウスで演奏したり、CDを出したりしているミュージシャンの児島さん。子どもの頃から枝豆が大好きで、枝豆好きが高じて家庭農園を借りて枝豆を栽培したり、日本中の枝豆農家を訪ねて農作業を手伝ったりしているそうです。

「枝豆栽培の様子などをインターネットの自分のブログに掲載したところ、保育園の保育士さんが目にとめ、保育園で枝豆の種まきの手伝いをしてくれないかと頼まれました。そこで、子どもたちから『枝豆王子』と呼ばれたことで、枝豆王子が僕のお愛称になったんです。」



“枝豆王子” ことミュージシャン 児島啓介さん

音楽を通して楽しく食育を学んで欲しい

児島さんは、枝豆ソングや『よくかんで食べましょう』など食べ物への愛情がこもった歌を作っています。

「保育園でのお手伝いがきっかけで、いろいろな保育園や小学校で歌を歌っています。クイズや紙芝居で枝豆の良さを紹介する食育の出前授業や、地域のイベントへの参加、民間の学童保育での臨時講師もしています。子どもたちとの触れ合いは音楽活動にも影響を与えてくれます。子どもたちの自由でユニークな発想に作詞のヒントをもらうこともあります。」



紙芝居などを使って楽しく枝豆について学びます

感謝の気持ちを農家の方たちに伝えたい

児島さんは、今後、もっとたくさんの方々に、子どもたちに音楽を通して食べることの大切さを伝えていきたいと考えています。

「いただきます」という言葉が野菜やいろいろな農作物に感謝して口にすることを知らせてあげたいです。また、子どもたちの感謝の気持ちを日本中の農家の方にも伝えていきたいですね。音楽を通じて農家の方と子どもたちの架け橋のような役割ができれば嬉しいです。」



東京23区でも珍しい学生のアマチュアオーケストラです

練馬区ジュニアオーケストラは、小学4年~高校生の約70人で構成される、東京23区でも数少ない学生アマチュアオーケストラです。

「設立のきっかけは、昭和56年に総合教育センターで始まった弦楽合奏教室でした。その頃、区内の学校に吹奏楽部はありましたが、本格的に管弦楽を学べる学校がありませんでした。当時、中学校の教師をしていたわたしは、子どもたちに本格的な管弦楽を体験させたいとの願いから、弦楽合奏教室の開催を提案しました。」

弦楽合奏教室には毎年多くの参加希望者が集まり、弦楽器に管楽器と打楽器も加えて、現在の基となるオーケストラが誕生したそうです。



指揮者/木村圭二さん

大人顔負けの演奏は、指導の先生方の熱心な指導のたまものです

練習は、毎土曜の午後総合教育センターで行われます。弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器それぞれに指導の先生が付くパート練習と木村さんの指揮に合わせて演奏する全体練習があります。

「主な活動は、毎年3月に練馬文化センターで行う定期演奏会と秋に区内の小中学校で行う学校演奏会です。10月に行った田柄小での演奏会では、『アルルの女』や『交響詩フィンランディア』のほか、田柄小児童の合唱との合同演奏も披露しました。」



練習はパートごとの練習から始まります

子どもたちや地域の方がクラシックの魅力に触れるすそ野を広げたいです

オーケストラの魅力は、いろいろな楽器が奏でる

学生によるアマチュアオーケストラ ジュニアオーケストラ

音色とメロディーが生み出す豊かで特色のある表現にあると木村さんはいいます。

「子どもたちには少人数の演奏では味わえない、ハーモニーの素晴らしさと、その中で自分が果たす役割の大切さを学んで欲しいです。70人もいるオーケストラだから、もちろん技術の差はあります。でもお互いにもっといい演奏をしたいと刺激し合ってもらいたいです。」

今後は、みんなのレベル向上を図り、より複雑な曲に挑戦していきたいです。そうすれば、さらに素敵な演奏がこのオーケストラでできるようになると思います。

また、団員には、今も続いている弦楽体験教室で初めてクラシックの魅力に触れて入団した生徒がいます。初心者には難しい楽器もありますが、練習次第で演奏できる楽器もあります。管弦楽に親しむ機会と場所を充実することで、子どもたちが管弦楽の世界に触れられるようなすそ野を広げたいですね。」



行ってみよう!



区立施設内の おいしいお店

区立施設を利用した際に、食事や休憩を取りたいと思ったことはありませんか。今回、区立施設の中にある、どなたでも気軽に利用できる喫茶コーナーやレストランを紹介します。

▶問合せ 広報係 ☎5984-2690



焼きたてのパンを
食べよう

希来里・きらり・KIRARI

▶所在地 貫井2-16-12貫井福祉工房内▶電話 5987-0401
▶営業時間 午前10時～午後3時▶定休日 土・日曜、祝休日、年末年始

↑カウンターでは、店員が笑顔で迎えてくれます

貫井福祉工房に通所する障害のある方が作るパンを、その場で食べることができる喫茶コーナーです。約40種類あるパンは持ち帰ることもできます。



←地名の付いた「貫井スペシャル」が人気商品です



老饕(ラオタオ)

▶所在地 光が丘4-1-4光が丘体育館内▶電話 5968-9008▶営業時間 午前11時30分～午後8時30分▶定休日 第2月曜、年末年始

本場の料理人が作る東南アジア料理のほか、マンゴージュースなど飲み物が豊富です。また、土・日曜、祝休日の晴れた日には、屋外に屋台とテーブルが出され、店内と同じメニューが食べられます。



東南アジア料理を
味わってみよう



↑「ラオスの焼き飯」(手前)は、ピリリとスパイスが効いています。「水ギョーザ」(左奥)と「生春巻」(右奥)は、お子さんに人気があります

←体育館や光が丘公園に遊びに来るグループなどで、にぎわっています

展望レストラン

▶所在地 豊玉北6-12-1区役所本庁舎20階▶電話 3948-3315▶営業時間 午前11時～午後9時30分(土・日曜、祝休日は午前11時30分から)
▶定休日 第4日曜、年末年始

区内で一番高い所にあるレストランで、眺望を楽しみながら食事ができます。ランチはオムライス、ディナーは牛ヒレ肉のステーキなどが好評です。



眺望を楽しみながら
一休みしよう



↑午後のひととき、コーヒーとケーキでおしゃべりが楽しめます

←晴れた日は、新宿の高層ビル群などの眺望が目の前に広がります

1月の休日医療関係機関

必ず健康保険証をお持ちください。往診はしません。
▶問合せ 地域医療課 ☎5984-4673

◆休日急患診療所

場 所	受付時間
小児科 練馬区夜間救急こどもクリニック (豊玉北6-12-1 区役所東庁舎2階) ☎3994-2238 ※小児科専門医が診療します。	1日(祝～4日(月)・日曜・祝休日) 10:00～11:30・13:00～16:30・18:00～21:30、平日20:00～22:30、土曜18:00～21:30 ※予約はいりません。
内科・小児科 練馬休日急患診療所(豊玉北6-12-1 区役所東庁舎2階) ☎3994-2238 石神井休日急患診療所(石神井町3-30-26 石神井庁舎地下1階) ☎3996-3404	1日(祝～4日(月)・日曜・祝休日) 10:00～11:30・13:00～16:30・18:00～21:30、土曜18:00～21:30 ※予約はいりません。
歯科 練馬つつじ歯科診療所(豊玉北6-12-1 区役所東庁舎3階) ☎3993-9956 石神井歯科休日急患診療所(石神井町3-30-26 石神井庁舎地下1階) ☎3996-3424	1日(祝～3日(日)・日曜・祝休日) 10:00～11:30・13:00～16:30 ※当日事前に電話連絡の上、受付時間内に来所してください。

◆休日診療当番医療機関

練馬総合病院(旭丘1-24-1) ☎5988-2200	診療時間は、1日(祝～3日(日)・日曜・祝休日)9:00～17:00 ※当日事前に電話で連絡してください。 ※案内図は、わたしの便利帳「保健、医療」に掲載。
浩生会スズキ病院(栄町7-1) ☎3557-2001	
田中脳神経外科病院(関町南3-9-23) ☎3920-6263	
島村記念病院(関町南4-21-21) ☎3928-0071	
久保田産婦人科病院(東大泉3-29-10) ☎3922-0262	
大泉生協病院(東大泉6-3-3) ☎5387-3111	

◆休日診療当番接骨院 (9:00～17:00) 認め印を持参してください。

接骨院	電話
1日 はづき接骨院(桜台2-17-16) ☎3948-6230	
伊藤接骨院(谷原2-6-28) ☎3995-8750	
金沢接骨院(石神井台5-2-8) ☎3928-8160	
2日 はづき接骨院(桜台2-17-16) ☎3948-6230	
ニレ接骨院(田柄2-19-29) ☎3975-7856	
小池接骨院(西大泉1-33-4) ☎3923-3044	
3日 コマツモ接骨院(豊玉上1-8-2) ☎3991-1231	
大久保接骨院(中村北4-6-12) ☎5241-8704	
金沢接骨院(石神井台5-2-8) ☎3928-8160	
10日 あおい接骨院(北町2-25-11) ☎3550-3250	
にしやま接骨院(石神井町4-3-15) ☎3995-5721	
浅木接骨院(西大泉2-16-26) ☎3923-1686	
11日 マキノ接骨院(練馬4-26-11) ☎5999-3776	
山口接骨院(北町2-34-3) ☎3550-7505	
市毛接骨院(関町南2-2-6) ☎3928-0346	
17日 樽本接骨院(豊玉中4-13-21) ☎3948-8586	
まこと接骨院(高松4-20-16) ☎3926-4348	
関町接骨院(関町北2-4-4) ☎3920-3997	
24日 牧内接骨院(北町1-1-18) ☎3931-1050	
おおて接骨院(田柄1-26-11) ☎3939-7535	
大賀接骨院(大泉学園町7-19-5) ☎3867-0702	
31日 あかつ接骨院(豊玉中3-13-14) ☎3991-9303	
やまもと接骨院(田柄2-33-12) ☎3930-5291	
原接骨院(石神井台6-19-3) ☎3924-1145	

◆医療機関案内

東京都保健医療情報センター(医療機関案内ひまわり) ☎5272-0303(毎日24時間自動応答)

◆東京消防庁救急病院案内

練馬消防署 ☎3994-0119
光が丘消防署 ☎5997-0119
石神井消防署 ☎3995-0119

◆休日診療当番歯科医院 (9:00～17:00) 当日事前に電話で連絡してください。

歯科	電話
1日 小山歯科医院(関町北3-3-21) ☎3920-1508	
2日 西村歯科クリニック(南大泉3-27-18) ☎3867-6480	
3日 浅田歯科医院(谷原2-10-17) ☎3996-8522	

◆当番保険薬局 (10:00～17:00)

プラザ薬局練馬店(旭丘1-20-7) ☎6909-0701
日の丸薬局(貫井2-5-5) ☎3990-5397
1日 光が丘調剤薬局本店(光が丘5-1-1) ☎3976-7511
公園通り薬局(石神井町3-25-2-201) ☎5910-7282
アイセイ薬局東大泉店(東大泉6-34-47) ☎5947-7158
2日 武蔵堂ファーマシー薬局(旭丘1-76-3) ☎3951-0861
日の丸薬局(貫井2-5-5) ☎3990-5397
リヴィン光が丘調剤薬局(光が丘5-1-1) ☎3976-0165
ハラダ薬局(石神井町3-18-12) ☎3996-0010
ひまわり薬局駅前店(東大泉1-30-10) ☎5933-0761
3日 サフラン堂薬局(小竹町1-2-5) ☎3955-7139
みとよ堂薬局(中村1-6-15) ☎3970-9839
ダイエー光が丘調剤薬局(光が丘5-1-1) ☎3976-3821
ハラダ薬局(石神井町3-18-12) ☎3996-0010
大泉学園薬局(東大泉3-18-4) ☎5933-1089

◆東京消防庁救急相談センター

救急車を呼ぶべきか迷ったらご相談を
相談電話 携帯電話・プッシュ回線 ☎7119
ダイヤル回線 ☎3212-2323

◆東京都小児救急電話相談

相談電話 携帯電話・プッシュ回線 ☎8000
ダイヤル回線など ☎5285-8898
(平日17:00～22:00、1日(祝～3日(日)・土・日曜・祝休日)9:00～17:00。保健師・小児科医師などが対応)